

新潟市一般廃棄物処理基本計画(素案)の修正について

頁	修正箇所	意見概要	修正前	修正後	市の考え方
1	総論				
2	1.1 はじめに	<p><b>審議会委員意見</b></p> <p>SDGs の本計画との関わりが分かりづらい。</p>	<p>掲載位置→P39</p> <p><b>【コラム 4】SDGs（エスディーゼーズ）とは？</b></p> <p>SDGs とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。</p> <p>平成 27（2015）年 9 月の国連サミットにおいて、持続可能な開発のための 2030 アジェンダが採択され、誰一人取り残さないとの誓いの下、貧困や格差をなくし、気候変動が緩和された持続可能な世界の実現に向けて、2030 年を期限とする 17 の持続可能な開発のための目標と 169 のターゲットが定められました。先進国・途上国を問わずすべての国に適用される普遍性が最大の特徴です。</p> <p>廃棄物分野に関連する内容としては、以下の項目が挙げられます。<u>資源制約・環境保全が求められる中、経済を発展もしくは維持させつつ、環境を保全していくためには、資源消費量の削減は絶対的な使命であり、日本は先進国としてその責任を果たす必要があります。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物エネルギーの利活用促進</li> <li>● エコマテリアル利用と持続可能な調達普及の促進</li> <li>● 廃棄物の適正処理と排出者のマナー向上</li> <li>● 食品ロス対策を含めた資源ロスの削減</li> <li>● 廃棄物循環利用の更なる促進</li> <li>● 災害廃棄物対策</li> </ul> </div> 	<p>掲載位置→P2</p> <p><b>【コラム 4】SDGs（エスディーゼーズ）とは？</b></p> <p>SDGs とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。</p> <p>平成 27（2015）年 9 月の国連サミットにおいて、持続可能な開発のための 2030 アジェンダが採択され、誰一人取り残さないとの誓いの下、貧困や格差をなくし、気候変動が緩和された持続可能な世界の実現に向けて、2030 年を期限とする 17 の持続可能な開発のための目標と 169 のターゲットが定められました。先進国・途上国を問わずすべての国に適用される普遍性が最大の特徴です。</p> <p>廃棄物分野に関連する内容としては、以下の項目が挙げられます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物エネルギーの利活用促進</li> <li>● 廃棄物の適正処理と排出者のマナー向上</li> <li>● 食品ロス対策を含めた資源ロスの削減</li> <li>● 廃棄物循環利用の更なる促進</li> <li>● 災害廃棄物対策</li> <li>● 未処理排水の半減などによる水質改善</li> </ul> </div> 	<p>掲載位置を変更しました。</p> <p>また、位置の変更に伴い、内容をごみと生活排水どちらにも関わる内容となるよう調整するとともに、ロゴが見やすくなるようレイアウトを変更しました。</p>

頁	修正箇所	意見概要	修正前	修正後	市の考え方
---	------	------	-----	-----	-------

2 ごみ処理編

20 1.6.5 環境教育施設

事務局修正

1.6.5 環境教育施設

資源再生センター（エコプラザ）は、飲食用缶の処理機能に加え、不用品の有効活用とごみ減量意識の向上・定着を図るために、ごみ減量やリサイクルについて学習、体験ができる啓発施設としての機能を併せ持っています。

また、家庭で不用になった家具などを市民から無償で提供してもらい、清掃と簡単な補修を行ったのち展示し、抽選により提供するリサイクル品提供事業を資源再生センター、新田清掃センター、鑑潟クリーンセンターで行っています。

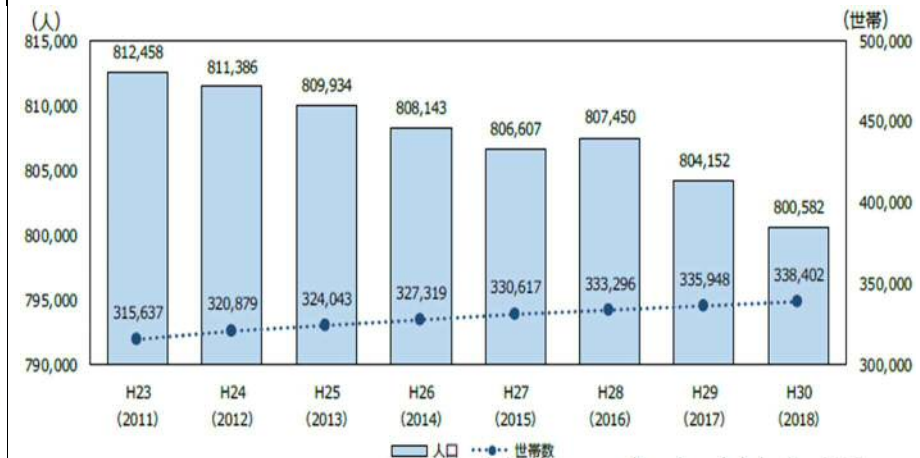
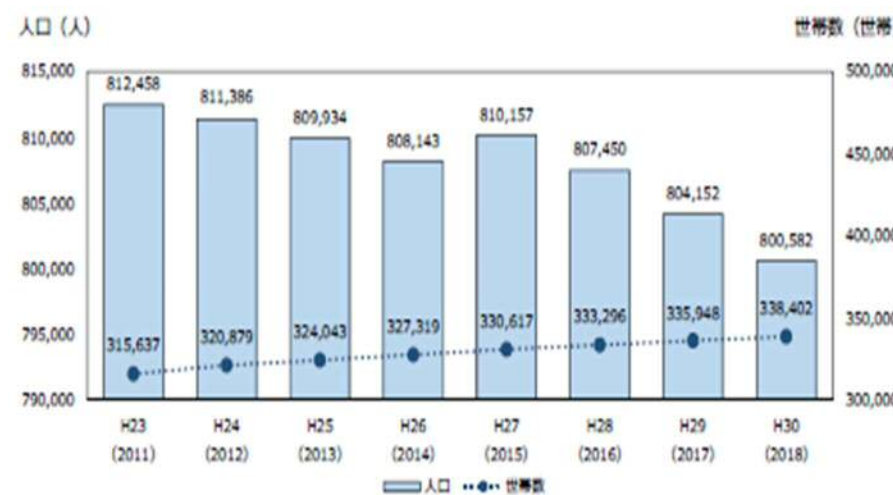
表 17 環境教育施設

施設名称	実施事業
資源再生センター（エコプラザ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル品提供事業</li> <li>・リサイクル情報登録バンク</li> <li>・環境啓発講座・講習会の開催</li> <li>・施設貸出</li> <li>・図書・ビデオ・DVDの貸出</li> <li>・施設見学案内</li> </ul> 
新田清掃センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル品提供事業</li> <li>・図書・ビデオ・DVDの貸出</li> <li>・施設見学案内</li> </ul> 
鑑潟クリーンセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル品提供事業</li> <li>・施設見学案内</li> </ul> 

削除



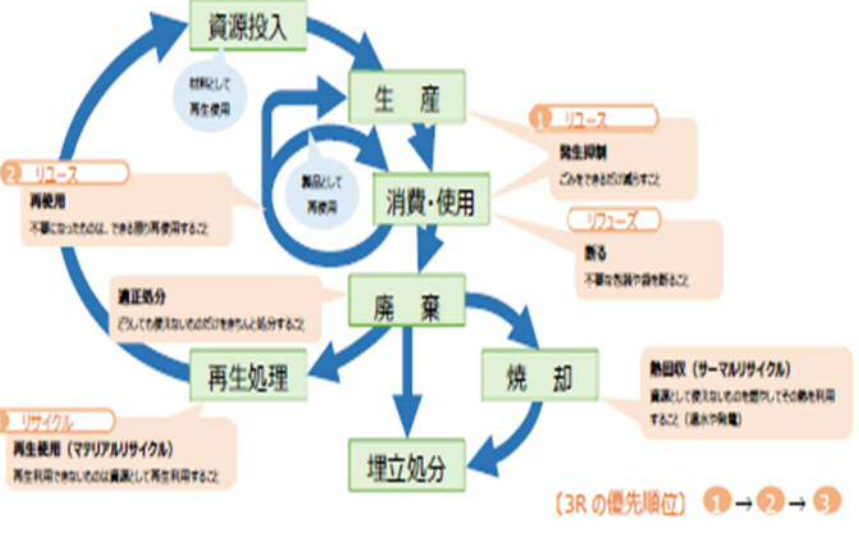
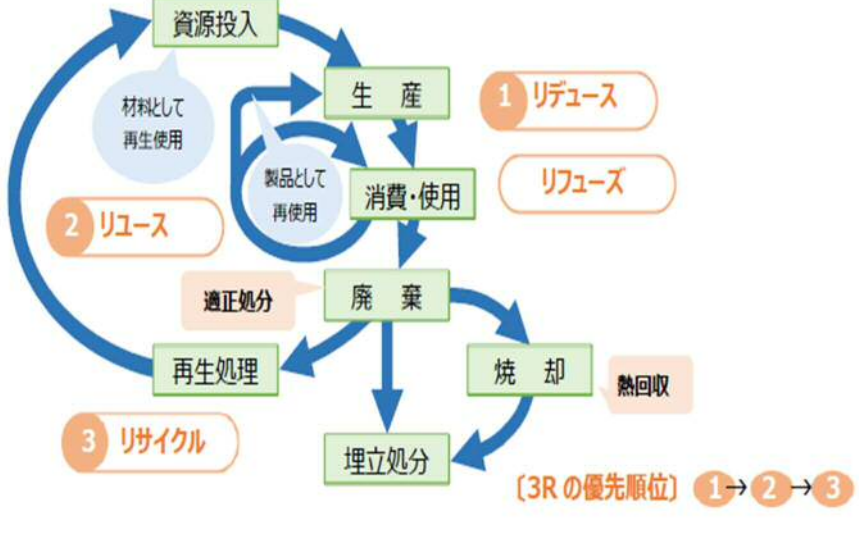
ページを削除し、記載内容を関連ページに移動し掲載しました。

21 2.1.1 人口と世帯数の動向 (図 10)



※平成 27 (2015) 年度までの人口は、平成 22 (2010) 年度国勢調査基準による。

平成 27 年度人口を、平成 22 年度国勢調査基準に改めました。(P23 表 17 と整合性をとるため。)

頁	修正箇所	意見概要	修正前	修正後	市の考え方
32	2.2.1 前計画の概要 (図)	事務局修正			元号の表記を統一しました。 前計画の効果を H24 年度比に統一しました。
38	2.3.7 資源物の循環	新規追加		<p><b>2.3.7 資源物の循環</b></p> <p>本市で集められた資源物は、国内循環はもとより、輸出も含め全世界的な資源循環の輪を形成しています。</p> <p>昨今、海洋プラスチック問題など、全世界的なごみ問題が顕在化していますが、一因としては世界的に循環する資源物の中に再利用できないごみが混入していることがあげられ、資源物の輸出先である中国・東南アジアなどの諸外国では、輸入品の品質規制及び輸入量の規制が実施されています。</p> <p>このことから、資源物の国内滞留、選別作業の高コスト化を引き起こし、各資源物の取扱事業者の事業活動の維持や資源循環の維持に支障が生じかねません。</p> <p>特に、古紙類は令和元(2019)年以降、価格が暴落し、他市では集団資源回収事業が滞るなど、影響が広がっています。</p>	最近の情勢を踏まえ、新たな課題として追加しました。 ⇒資料3を参照
40	3.2.1 循環型社会とは (図27)				分かりやすくなるよう図を修正しました。
	【コラム4】3R(スリーアール)とは? (コラム内8行目)		・・・リサイクルに比べて優先順位が高い2R(ツール(リデュース・リユース))の取り組みが遅れていることが課題であると示されました。	・・・リサイクルに比べて優先順位が高いリデュース・リユースの取り組みが遅れていることが課題であると示されました。	3Rとの混同を避けるため、表現を見直しました。

頁	修正箇所	意見概要	修正前	修正後	市の考え方																																		
43	3.4.1 数値目標 (表 21)	事務局修正	参考指標：食品ロス量（令和6（2024）年度（中間目標）） 32,500 t	参考指標：食品ロス量（令和6（2024）年度（中間目標）） 32,400 t	精査の結果、食品ロス量の中間目標年度の値を変更しました。																																		
47	3.4.8【参考指標】生ごみ量・食品ロス量		<p>【9,200tの目安】 33g/人・日 1週間で卵4個分</p> <p>買い物前の冷蔵庫チェック、 期限表示の確認等を行いましょ！</p>	<p>【9,200tの目安】 33g/人・日 1週間で卵4個分</p> <p>買い物前の冷蔵庫チェック、 期限表示の確認等を行いましょ！</p>	食品ロス量の中間目標年度の値の変更に伴い、グラフを修正しました。 9,200 t の目安のイラストを、説明文に合わせて変更しました。																																		
49	第4章 目標達成に向けた施策 (表 22)	審議会委員意見 施策1、2と3Rの関係性が分かりづらい。	施策1 <u>2R</u> の推進によるごみの減量	施策1 <u>リデュース・リユース</u> の推進によるごみの減量  (表下) ※施策1と施策2を併せて取り組むことで、3Rを推進していきます。	施策1の名称を変更し、併せて3Rとの関係性を補足する説明文を追加しました。																																		
	第4章 目標達成に向けた施策 (表 22)	事務局修正	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施策</th> <th colspan="5">施策の視点</th> </tr> <tr> <th>環境</th> <th>協働</th> <th>安心</th> <th>啓発</th> <th>効率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 地域の環境美化の推進</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施策	施策の視点					環境	協働	安心	啓発	効率	5 地域の環境美化の推進	○	○	○			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施策</th> <th colspan="5">施策の視点</th> </tr> <tr> <th>環境</th> <th>協働</th> <th>安心</th> <th>啓発</th> <th>効率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 地域の環境美化の推進</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施策	施策の視点					環境	協働	安心	啓発	効率	5 地域の環境美化の推進	○	○	○	○		施策5に啓発の視点を追加しました。
施策	施策の視点																																						
	環境	協働	安心	啓発	効率																																		
5 地域の環境美化の推進	○	○	○																																				
施策	施策の視点																																						
	環境	協働	安心	啓発	効率																																		
5 地域の環境美化の推進	○	○	○	○																																			
50	4.1 リデュース・リユースの推進によるごみの減量				施策1に関連するSDGsの目標を整理しました。																																		
51	【コラム5】エシカル消費とは？		「エシカル(ethical)」とは、英語で「倫理的な」という意味で、法律としての制限はなくても、本来人間が持つ良心から発生する社会的規範(ルール)を意味します。人間が生活していくうえで、必要な消費により使用される資源・エネルギーは膨大ですが、それらが不当に地球環境や他人を傷つけていないかどうかは、商品を購入する際に意識をしなければ分かりません。「『人と社会、地球環境、地域のことを考慮して作られたモノ』を購入・消費する」ことがエシカル消費といわれます。	エシカル消費とは、よりよい社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動のことです。 「エシカル(ethical)」とは、日本語では「倫理的な」と訳され、法律としての制限はなくても、多くの人々が正しいと思うことを意味します。最近では、人や社会、環境などに配慮した行動や考え方を表す意味としても使われています。商品を購入する際、再生材を使用した製品やエコマーク付き製品を選択すること、捨てる時のことまで考慮し3Rの視点を持つことなど、環境に配慮した消費行動をとることも「エシカル消費」です。エシカル消費は、循環型社会を目指すうえでも大切な取り組みの一つです。	説明文を、分かりやすくなるよう全体的に見直しました。																																		

頁	修正箇所	意見概要	修正前	修正後	市の考え方
52	【コラム6】リサイクル品提供事業とは？	事務局修正	新規追加	<p><b>【コラム6】リサイクル品提供事業とは？</b>  リサイクル品提供事業とは、家庭で不用になった家具などを市民から無償で提供してもらい、清掃と簡単な補修を行ったものを展示し、抽選により提供することです。  資源再生センター（エコプラザ）、新田清掃センター及び鑑湯クリーンセンターの3か所で実施しており、平成30（2018）年度は1,995点を展示しました。</p> 	事業説明のコラムを追加しました。
53	4.2さらなる資源循環の推進				施策2に関連するSDGsの目標を整理しました。
	4.2.1リサイクルの推進（3行目）		新規追加	それぞれの資源物について、市況および取扱業者の動向を注視しながら、施策を実施する必要があります。	P38 2.3.7 資源物の循環に追加した課題を踏まえた表現に修正しました。
57	4.4市民サービスの向上				施策4に関連するSDGsの目標を整理しました。
61	4.6.2ごみ処理施設の統合および更新（具体的な推進策）	<p>パブリックコメント  計2施設体制の方向性を明記すべきである。</p> <p>パブリックコメント  統廃合にあわせ、廃止施設の有効活用と跡地利用を図ることについて追記してはどうか。</p>	<p>● <b>焼却施設の統合と更新</b>  施設統合と更新について、点検・故障時のリスク分担、稼働コスト及び温室効果ガス排出量低減の視点を踏まえ、稼働年数が短い新田清掃センターと、<u>もう1施設</u>の計2施設体制で整備を進めます。</p>	<p>● <b>焼却施設の統合と更新</b>  施設統合と更新について、点検・故障時のリスク分担、稼働コスト及び温室効果ガス排出量低減の視点を踏まえ、稼働が短い新田清掃センターと更新施設の2施設に統合します。  <u>更新する施設は、立地条件や必要面積などから亀田清掃センターとし、更新（建替）に向け整備を進めます。</u>  <u>なお、停止する施設は、市民の持ち込みの中継施設とし、市民サービスを維持します。</u></p>	<p>亀田清掃センターを更新（建替）し、新田清掃センターとの2施設体制とすることを明記しました。</p> <p>機能移転等により廃止を予定する施設について、市民の持ち込みごみの中継施設とする内容を追記します。</p>

頁	修正箇所	意見概要	修正前	修正後	市の考え方
62	4.7 低炭素社会に向けた体制整備	事務局修正			施策7に関連するSDGsの目標を整理しました。
			個別施策 7.2 バイオマスプラスチック製ごみ指定袋の導入検討	個別施策 7.2 廃棄物分野におけるバイオマスプラスチックの利用促進	個別施策 7.2 の表題を、より広義な表現に改めました。
	4.7.2 廃棄物分野におけるバイオマスプラスチックの利用促進		<p>国の「プラスチック資源循環戦略」に基づき、<u>バイオマスプラスチック製ごみ指定袋の導入の検討を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>バイオマスプラスチック製ごみ指定袋の導入検討</b> カーボンオフセットの視点から、バイオマスプラスチックを使用したごみ指定袋の導入の検討を進めます。</li> </ul>	<p>国の「プラスチック資源循環戦略」に基づき、<u>廃棄物分野においても、バイオマスプラスチックの利用を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>バイオマスプラスチック製ごみ指定袋の導入検討</b> <u>温室効果ガス削減の視点から、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックを使用したごみ指定袋の導入の検討を進めます。</u></li> </ul>	個別施策の変更に合わせて表現を見直しました。
	【コラム7】カーボンニュートラルとは？	<p><b>【コラム6】カーボンオフセットとは？</b> カーボンオフセットとは、私たちの活動により排出される温室効果ガスをまずできるだけ減らすように努力したうえで、それでも排出してしまう温室効果ガスの排出量を、環境貢献型商品の購入等によって、二酸化炭素の吸収、再生可能エネルギー導入等の温室効果ガスの削減プロジェクトを支援し、埋め合わせるという考え方で す。 カーボンオフセットに取り組む際には、まずできる限りの温室効果ガスの排出を減らす努力が必要です。できる限り排出量を少なくすること、そのうえで排出量を埋め合わせるのが最も重要です。</p>	<p><b>【コラム7】カーボンニュートラルとは？</b> カーボンニュートラルとは、私たちの活動により排出される温室効果ガスをできる限り減らすよう努力したうえで、それでも排出される量を、他の場所で減らしたり、吸収したりすること等によって、埋め合わせるという考え方です。 カーボンニュートラルに取り組む際には、排出される温室効果ガスをできる限り減らす努力が必要です。</p>	個別施策の変更に合わせて、コラムを「カーボンオフセット」から「カーボンニュートラル」に変更しました。	
63	4.8 大規模災害に備えた体制整備				施策8に関連するSDGsの目標を整理しました。